

金沢大学 超然プロジェクト
『古代文明の学際研究の世界的拠点形成』
成果報告会

世界の

古代文明

を探る

参加無料
要申込
3月18日
13:00 まで

2022年 3月 19日 (土) 13:00 ~ 17:30
金沢市文化ホール (2F 大集会室 / 申込順 60名まで)
+ オンライン・ライブ配信 (Zoom ウェビナー)

写真

上段：良渚文化の玉琮 (中国・反山 12号墓出土)
中段左：コバン遺跡 11号神殿 (ホンジュラス)
中段右：北サッカー遺跡 (エジプト)、カタコンベ前での発掘調査
下段左：ペルー北高地に位置するバコバンバ遺跡 (eHeinz Plenge)
下段右：ラバヌイ (イースター島) のモアイ像

金沢大学 超然プロジェクト「古代文明の学際研究の世界的拠点形成」成果報告会

「世界の古代文明を探る」

日時：2022年3月19日（土）13:00～17:30（12:45 開場）

会場：金沢市文化ホール 2F 大集会室（石川県金沢市高岡町 15 番 1 号）

会場での参加の他、オンライン（Zoom ウェビナー）でもご視聴いただけます

会場参加（申込順 60 名まで）・オンライン視聴ともに事前のお申込みが必要です

3月18日（金）13:00 までに右記のウェブサイトからお申込みください

※ 感染症等の状況により会場での参加を制限させていただく場合があります

参加申込はこちらから ↓

<https://peatix.com/event/3153149>



3/18 13:00 まで

Peatix への登録が
必要です（無料）

主催：金沢大学 超然プロジェクト「古代文明の学際研究の世界的拠点形成」（研究代表者：河合 望）

共催：金沢大学人間社会研究域附属 古代文明・文化資源学研究センター／金沢大学新学術創成研究機構 文化遺産国際協カネネットワークユニット

プログラム

13:00-13:10 開会挨拶／趣旨説明

13:10-13:30 報告① 上杉 彰紀（金沢大学古代文明・文化資源学研究センター 特任准教授）
「インダス文明のダイナミズム：文明社会の仕組みを地域間交流から考える」

13:30-13:50 報告② 小高 敬寛（金沢大学国際基幹教育院 准教授）
「文明前夜のメソポタミア東縁部：シャフリゾール平原の先史遺跡調査」

13:50-14:10 報告③ 藤井 純夫（金沢大学古代文明・文化資源学研究センター 特任教授）
「パンサー・トラップ：アラビア半島先史遊牧民の生捕り装置」

14:10-14:30 報告④ 河合 望（金沢大学新学術創成研究機構 教授）
「エジプト、北サッカラ遺跡の発掘調査の意義と今後の展望」

14:30-14:45 休憩

14:45-15:05 報告⑤ 關 雄二（国立民族学博物館 教授）
「ペルー北高地パコパンバ遺跡における防御遺構：インカと在地社会」

15:05-15:25 報告⑥ 中村 誠一（金沢大学古代文明・文化資源学研究センター 教授）
「マヤ文明の謎に挑む－世界遺産「コパンのマヤ遺跡」の発掘調査－」

15:25-15:45 報告⑦ 石村 智（東京文化財研究所無形文化遺産部音声映像記録研究室 室長）
「南海の文明－文明の崩壊と持続可能性について－」

15:45-16:05 報告⑧ 覚張 隆史（金沢大学古代文明・文化資源学研究センター 助教）
「難古代ゲノム解析資料群を対象とした新しい分析手法の開発」

16:05-16:25 報告⑨ 足立 拓朗（金沢大学古代文明・文化資源学研究センター 教授）
「『北陸と世界の考古学』における「文明と王権」

16:25-16:40 休憩

16:40-17:20 質疑応答

17:20-17:30 閉会挨拶

報告の要旨は以下のウェブサイトでご覧いただけます

<https://csac-cr.w3.kanazawa-u.ac.jp/symposium/sympo20220319.html>

お問い合わせは Email にて ku.ancient@gmail.com まで

写真（上より） シャカル・テベ遺跡とザグロス山脈（イラク・クルディスタン）／インダス文明・モヘンジョダロ遺跡（パキスタン）／パンサー・トラップ（サウジアラビア）／古代 DNA 抽出実験の風景（金沢大学）／日本考古学協会 2021 年度金沢大会資料集表紙

